

「児童生徒の作品集」

～学習成果・読書感想文2～

校長 森 勝義

「きいてきいてきいてみよう」

「奥田 紘章先生へのインタビュー」

小学5年1組 野中 準矢

ぼくがインタビューした相手は、奥田紘章先生です。奥田先生は、ぼくが夏休みに日本で行った小学校の担任の先生です。奥田先生にインタビューした理由は、母がすすめてくれて、先生もいいよと言ってくれたからです。まず、ぼくは奥田先生が先生になった理由を聞きました。

一つ目の理由は、先生のご両親も学校の先生で、子どものころに生徒がとまりにきて楽しかった思い出があるからだそうです。二つ目の理由は、子どもが好きだからだそうです。

次に、先生の仕事のどんなところが大変かを聞いたところ、仕事の量が多いこととおっしゃいました。最後に、楽しいことは何かを聞いたところ、子どもたちと遊ぶことだそうです。

奥田先生は先生の仕事が忙しいのに、放課後にぼくのインタビューに答えてくれました。ぼくは、うれしかったです。

「お父さんの仕事」

小学5年1組 山口 清悠

ぼくは、お父さんの仕事についてインタビューしました。そのことを選んだ理由は、お父さんの仕事について調べてみたかったからです。それに、お父さんが何をしているかをよく知らなかったからです。そこで、お父さんに直接話しを聞きました。

インタビューをしてわかったことは、ぼくのお父さんの会社は車の内装部品をつくっているということです。スバルという会社の車の内装部品をつくっているそうです。内装部品というのは、車の中にあるシートやガラス以外の手でふれられる製品のことで、それらの製品を父の会社は作っています。お父さんは会社の営業というところで働いているそうです。そして、その内装部品を販売しています。その仕事のどこにやりがいを感じているか聞いたところ、新しい仕事をもらった際に、みんなと協力して世の中に車の部品を提供できる事だそうです。そして、お父さんは人と話すことが好きなので、この仕事は向いていると言っていました。

もう一つ、気になったことがあました。この仕事をしていてどんな時が大変だったのかということです。それは、機械が故障してしまった時、てつ夜で修理に立ち会ったことだそうです。車は一分に一台生産できるので、すこしでも機械が停止してしまうと、多くの人が仕事をできなくなってしまうそうです。そうならないように、日々点検、警戒しているそうです。

そして、会社の工場は東京ドームの1.3倍の広さと知りおどろきました。

ぼくは、お父さんの仕事内容をあまりしりませんでした。ですが、このインタビューを通して少し分かった気がします。いつも、疲れて帰ってくるお父さんを見て、「仕事はそんなに大変なの？」と思っていました。ですが、このインタビューの内容で、その大変さが分かりました。

「やまなし」を読んで

小学6年2組 奥谷 晏司

ぼくの初めて読んだ時の第一印象は、内容が難しいと思いました。なぜなら難しい言葉や、難しい表現がたくさんあるからです。宮沢賢治の生い立ちを書いた「イーハトーヴの夢」を読んだ

あとに、「やまなし」を読んで気付いたことは、「やまなし」のストーリーは、「イーハトーヴ」の地名「イサド」がでてくることから、「やまなし」は、賢治の夢の世界だと思いました。

また、「やまなし」と宮沢賢治の他の作品を比べると、「やまなし」は、平和なストーリーだと思います。なぜなら、他の作品ではもっと悲しいことが起こっているからです。

なので「やまなし」を読んで僕は、平和の作品と言うところが好きでした。

「やまなし」を読んで

小学6年2組 松島 想果

私は、初めて「やまなし」を読んだ時印象に残ったのは、かわせみを表している、「コンパスのように黒くとがっている」という表現です。私はこの表現に体がぞくっとしました。

次に、宮沢賢治のことについて書かれている「イーハトーヴの夢」を読み、宮沢賢治が人間や動物、植物の心が通じ合う世界が夢だったこと、そして自然を大切にしていたことを知り、「やまなし」では、カニの親子を中心として、水中に自分もいるようにした幻灯の世界を書いたのだと思いました。

最後に私は「やまなし」と「よだかの星」は、物語の感じが似ているなと思いました。なぜなら、二つとも最初は不安な暗い感じでしたが、最後は、安心や平和という明るい感じで終わっているからです。私は、宮沢賢治の書く物語は、自然を感じさせる表現が多く書かれていると思います。

「夏休みの出来事」

小学6年2組 久保田 沙羅

私は、この夏休みにグランドティトン国立公園とイエローストーン国立公園に1週間かけて車で行きました。グランドティトン国立公園内にある、ジャクソン・レイク・ロッジという名前のホテルに着いたのは、2日目の夕方でした。ホテルを探検した後。プールに入りました。3日目は、グランドティトンにあるジェニーレイク湖に行きました。湖の上にあるロッキー山脈の山々が、水面に反射して輝いていました。4日目は、ホットスプリングに行きました。大小さまざまなホットスプリングがありました。その内の一つは、湖のような円形で外側が茶色→オレンジ色、中心に埋まっていくと、黄色→緑→深緑になり、深い所は濃い青に見えました。

二つの公園に言ったり来たりしているうちに、たくさんの山を見ました。私は山が多くある長野県に住んでいたのも、今回の旅行で長野県に帰ったような気分になりました。

「夏休みの出来事」

小学6年2組 市川 正希

この夏休みは家族ヨーロッパに行きました。最初にフランスのパリに行き、その後ベルギーのブリュッセルに行き、ロンドンに渡りました。ぼくはヨーロッパに行った事がなかったので、初めての体験でした。ヨーロッパの旅行は2週間だったので、色々な所に行ったり、さまざまな物を食べたりしました。その中で一番印象に残っているのは、パリのルーブル美術館に行って、有名なモナリザの絵を見たことです。ルーブル美術館は、エジプトのミイラやギリシャの大きな像なども展示されていました。ルーブル美術館は、入るときも人がたくさんいて、並びました。その中で一番人が集まっていたのは、モナリザです。暑い日にはアイスクリーをいっぱい食べました。今年の夏休みは、初めてのヨーロッパ旅行が出来てよかったです。

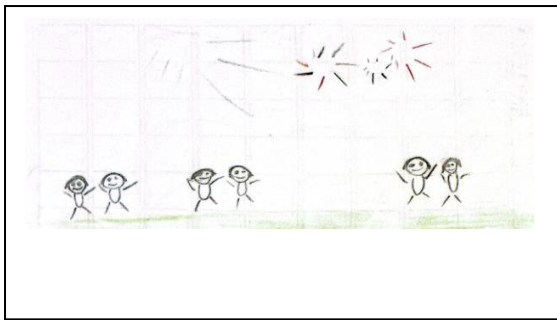
「夏休みの出来事」

小学6年2組 松島 想果

私はこの夏に日本に一時帰国しました。その時に友達と一緒にディズニーランドに行きました。「ファンタジースプリンセス」という新しいエリアが出来たディズニーシーは、混むと思ったので、私たちはディズニーランドに行くことにしました。とても楽しかったです。

私たちはジェットコースターが大好きなので、ジェットコースターにたくさん乗りました。「次は何に乗る？」など相談をして乗っていました。

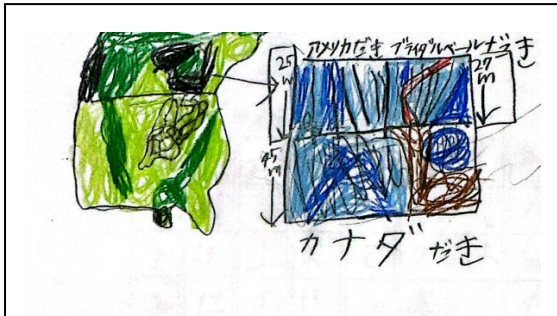
ディズニーランドでは、とてもポップコーンのおいがしていました。ディズニーランドのどこを歩いてもポップコーンの匂いがして、今すぐ食べたくなるほどでした。また友達と一緒に行きたいと思いました。



「絵日記」

小学2年2組 山本 穂高

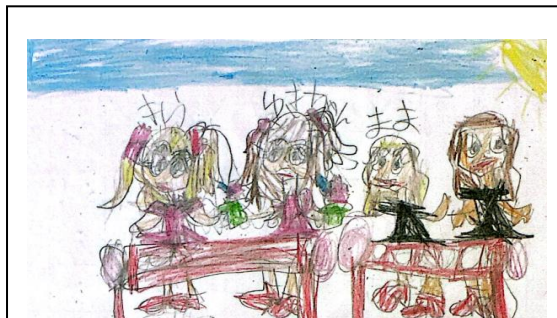
日本の家族と一緒にドジャーズスタジアムにいきました。大谷選手を生で見る事ができてよかったです。しあい中にファールボールがうしろのせきにとんできてびっくりしました。この日はアメリカどくりつきねん日だったので、し合いの後花火をみました。とくべつにフィールドのしばの上でみる事ができました。音楽に合わせてたくさんの花火が上がりました。みんなたのしそうでした。大谷のTシャツをかいました。またいきたいです。



「絵日記」

小学2年2組 茅野 理仁

アメリカにきてくれたおじいちゃんとおばあちゃんと、ぼくとお父さんとおかあさんの五人でカナダりょ行に行きました。ナイアガラのたきで、ゴンドラとふねにのったら、びしょぬれになってたのしくて、キャーといいながらダンスしました。ゴンドラでは川の上をわたるたかいのりもので、さいしょはこわかったけどのってみたらけしがよくて、川のうずがきれいで楽しめました。ホテルも上のかいにとまれたのでたきがきれいに見れました。もういっかい行ってみたいと思いました。



「絵日記」

小学2年2組 大石 妃羅

このまえ、おともだちのゆきちゃんとライオンズパークに行きました。こうえんのグルグルまわるゆうぐであそんでいたら、わたしがきもちわるくなってしまいました。だからベンチで休んだあと、ゆきちゃんとかきごおりをはんぶんこしてたべました。かき氷はつめたくてもちわるかったのが、すーとなおりました。そのあとは、いっぱいいろんなゆうぐであそべました。かきごおりはまほうのくすりみたいでした。また、たべたいです。



「絵日記」

小学2年2組 橋 凜果

わたしは、にほんにいるときに、びよういんで、かみの毛を切ってもらいました。おかあさんが、「じさぼけしてるから、ねむくなったらねてもいいよ。」と言いました。しゃんぷーのとき、ねむたかったけど、いいにおいがしてきもちいいな—とっていたら、あつというまにおわってしまいました。

宮沢賢治『注文の多い料理店』を読んで

小学6年1組 佐藤 翔紀

ぼくは、注文の多い料理店を読み終わった後、おもしろいことがいくつかありました。まず、しん士たちが戸に書いてあった注文の理由を一つひとつ考えたのがおもしろかったです。例えば、「ネクタイピン、カフスポタン、めがね、財布、その他金物類、ことにとがったものは、みんなここにおいてください」と書いてあった注文がありました。その注文に対して、しん士が「なんかの理由に電気を使うみたいだね。」と考えた理由がおもしろいと思いました。もう一つ、おもしろいとおもったところは、しん士は最後まで注文が多い料理店とは、人がたく山来て、みんながたく山注文する店と思いました。でも本当は、店で働く人たちがお客へたく山注文を出して、店の人たちがお客を食べるつもりでした。しん士が食べられそうになった時、どきどきしていました。最後は、犬がしん士を食べられそうになっているところから助けるのがよかったと思いました。

◎11月9日

<投稿作品>

- 中学2年1組 かなちゃん 「外見ると 木の葉散りゆき 冬きたる」
小学3年2組 松田 希子 「うろこぐも 日本とアメリカ いっしょだな」
小学6年1組 ロス 実夏 「寒露かな 葉っぱカリカリ いい音だ」
小学5年2組 西川 翔真 「月曜げつよう 絶望げつぼう」
幼稚部きく組 川端 葉 「おにいちゃん いつもやさしい うれしいな」
小学部 読み人知らず 「今日テスト ちょっとドキドキ しちゃうけど」
小学6年1組 深川 緒莉 「木々の葉が 紅(くれない)に染まる 寒露かな」
小学6年1組 赤木 七海 「色付いた この葉落ちゆく 寒露かな」
中学1年1組 熊澤 佐保 「良い香り 共にめざめる 寒い朝 お茶の季節に ほほえむ私」
小学5年1組 河本 瑛真 「シマエナが ふわふわしてて きれいだな」
小学6年1組 羽田 康生 「色付いた 秋のこの葉も 落ちてゆく」
小学4年2組 津和野百恵 「としよかんに ならびすぎたら もしかして 終わってしまう やすみじかん」
読み人知らず 「トムとジェリー トムがジェリーに まけちゃった」
保護者 読み人知らず 「納豆を 毎日食べる 夢を見た」
小学3年2組 読み人知らず 「秋冬も ひねもすのたり のたりかな」

ダジャレコーナー

- 小学3年1組 遠山 聡甫 「レモンの いれもん」
小学3年2組 伊藤誠一郎 「きょうとの きょうとう先生」
小学3年2組 松田 希子 「たんかは できたんか」
小学3年2組 飯田 靖士 「サメの目が さめた」
小学6年1組 岩谷 颯樹 「ロッカーに 入ろっかー」
小学4年2組 後藤 茜 「思い出は 重いでー」
小学3年1組 こう 「めがねをとつたら めがねー」



ヒゲ森の言葉の森・探検

さんかん しおん

三寒四温

冬に寒い日が三日続くと、その後、四日ほどは暖かくなること。寒暖が早春にかけて繰り返され、少しずつ気候が春めいてくる現象をいう。

**初恋は、これが最後の恋だと思
うし、最後の恋は、これこそ初
恋だと思うもの。**

トーベ・ヤンソン

1914年〜2001年 フィンランドの画家・小説家。

初恋では、この恋がいつか終わるなどとは考えられない。経験を重ねると、今までの恋は本当の恋ではなかったと思う。